

① ANN ニュース



【映像】「宙の会」の会見の様子

事件捜査に DNA を活用するよう法制化を訴えました。

殺人事件の被害者遺族らでつくる「宙の会」は、国家公安委員会に要望書を提出するの
前に会見を開きました。

会長を務める小林賢二さんは 1996 年に上智大学に通っていた娘を殺害されました。

日本には DNA 捜査についての法律がないため、容疑者の性別や年代などを早期に特定す
るために DNA 情報を積極的に活用してほしいと訴えました。

一方、人権侵害を防ぐ仕組みとして、採取や保管などのルール of 制定もあわせて要望しま
した。 ABEMA TIMES 編集部

② 殺人事件の賠償「代執行制度を」遺族の会が必要訴え (朝日新聞デジタル)



会見で、国が加害者に代わって賠償金を肩代わりする代

執行制度の必要性を語る小林賢二会長 (中央) =2024 年 3 月 16 日午後 3 時 40 分、東京都千代田区、長妻昭明撮影

殺人事件の遺族らでつくる「宙（そら）の会」が 16 日、[東京都千代田区](#)で総会を開いた。総会後に会見を開き、国が支払い能力のない加害者に代わって賠償金を肩代わりする「[代執行制度](#)」の必要性を訴えた。

同会によると、殺人事件の遺族が加害者を相手取った[民事訴訟](#)で賠償が認められても、加害者に支払い能力がないケースは少なくない。そのため国が賠償金の支払いを肩代わりして、のちに国が加害者から回収する制度の確立が必要という。

小林賢二会長（77）は、殺人事件などで死亡した被害者遺族に支払われる遺族給付金の増額を国が検討していることに触れ、「スズメの涙の給付金ではなく、急ぐべきは生活再建で一刻も早く代執行制度を確立して遺族を救済して欲しい」と訴えた。同日、代執行制度の確立を求める陳情書を国に送ったという。

ほかに、DNA 捜査の法整備化や[死刑制度](#)存置を訴える提言書も国に送ったという。（長妻昭明）

③ 殺人事件の被害者遺族の団体 今後の活動方針を確認 （NHK オンライン）

2024年3月16日 20時39分 [東京都](#)

殺人事件の被害者の遺族で作る団体の会合が東京都内で開かれ、被害者側への損害賠償が確実に支払われるよう国が立て替えたうえで、加害者に請求する制度の導入などを求めていることを確認しました。

会合は殺人事件の被害者の遺族で作る「宙の会」が東京 千代田区で開きました。

16日は今後の活動方針について話し合わせ

▽被害者や遺族への損害賠償が確実に支払われるよう国が立て替えたうえで加害者側に請求する「代執行制度」の導入や▽DNAを捜査に有効活用するための法整備などを求めていることを確認したということです。



<https://www3.nhk.or.jp/shutoken-news/20240316/1000102961.html>

「宙の会」の会長で、28年前の1996年、東京 葛飾区で上智大学の学生だった娘を殺害された小林賢二さんは「未解決の事件が解決につながったケースはまだ少なく、遺族の高齢化が進む中で1件でも多く解決するため、積極的に活動することをメンバーで誓い合いました」

た」と話していました。

また、犯罪被害者の遺族などに支払われる給付金の支給額を引き上げる方針が示されていることについては「給付金は“見舞金”という扱いにすぎず、大切な存在を失った遺族に見合うものにはなりません。代執行制度の導入など根本的なところから取り組んでほしい」と訴えていました。

殺人事件の被害者遺族の団体 今後の活動方針を確認 3/16(土) 午後 6:45-午後 6:53 放送

④ DNA 型活用した捜査の法制化を 殺人事件の被害者遺族らが求める

3/16(土) 18:13 配信

FNNプライムオンライン

[DNA 型活用した捜査の法制化を 殺人事件の被害者遺族らが求める](#)
(FNN プライムオンライン (フジテレビ系)) - Yahoo!ニュース

(動画)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ee1aebbef816ccbc431c79ae2efba4b883fb2bae>

殺人事件の被害者遺族たちが、DNA 型の情報をより活用して、事件の捜査にあたれるように法制化を求めた。

殺人事件の被害者遺族の会「宙（そら）の会」は 16 日、東京都内で会見を開き、DNA 型を活用した捜査が部分的にとどまっていることを訴え、遺伝子情報から性別や年齢の推定のほか、海外で行われているような似顔絵作成にも活用できるよう法制化を求めた。会見で、「宙の会」の高羽悟代表幹事は、「1 日も早い、法制化による未解決事件の捜査進展を望む」と述べた。

「宙の会」は近く、国家公安委員会に法制化を求める要望書を提出するという。

⑤ 「宙の会」“DNA 活用した捜査”法整備の必要性など訴え 3/16(土) 21:27 配信

07NEWS 

<https://youtu.be/8zV5yv5Nr8w>

殺人事件の被害者遺族の会「宙の会」が、DNA を活用した捜査の法整備の必要性などを改

めて訴えました。

「宙の会」は16日、東京・千代田区で会見を開き、DNAを捜査に有効に活用するための法整備の必要性などを求めて、引き続き活動していくことを確認したということです。

宙の会 小林賢二会長

「なぜこれだけ長い間、未解決事件が解決しないだろうか」「DNAの活用の仕方が、日本は遅れているのではないか」「そうした思いが年々強くなってきている」

「宙の会」の会長で、28年前に東京・葛飾区で上智大生の娘が殺害された事件の遺族の小林賢二さんは、『宙の会』の遺族の高齢化も進んでいて、未解決事件が一つでも解決されるように、早期解決を求めて活動を続けていく」と話しました。

⑥ 「1件でも多く未解決事件を解決に導く法制化を…」殺人事件被害者遺族らの「宙の会」が会見 捜査におけるDNA情報の積極的活用訴え 3/16(土) 22:01 配信



[TBS NEWS DIG Powered by JNN](#)

殺人事件の被害者遺族らでつくる「宙の会」が記者会見を開き、事件の捜査でDNA型の情報を積極的に活用できるよう国に法整備を求めました。

現在は、DNA型を活用した捜査が一部にとどまっているとした上で、法制化によって積極的に活用できるようになれば、現場に残された犯人の遺伝子の情報から犯人の性別や年齢などの推定が可能になるとしています。

また、被害者遺族が殺人事件の加害者側に損害賠償を求める際、国が賠償金の支払いを立て替えて加害者側に請求する「代執行制度」の導入を改めて求めました。

「宙の会」の会長で、1996年に上智大学に通う次女を殺害された小林賢二さん（77）は、「1件でも多く未解決事件を解決に導く法制化を実現する方向で進めていこうと互いに誓い合いました」と話しました。

⑦ 宙の会「死刑制度は必要不可欠」懇話会設立を受け提言（共同通信）



記者会見で話す「宙の会」会長の小林賢二さん＝16日午後、東京都千代田区

未解決事件の被害者遺族らでつくる「宙の会」は16日、東京都内で会見を開き、犯罪抑止のために死刑制度は必要不可欠だとする提言を発表した。死刑廃止を求める立場の日弁連が事務局を務め、法曹関係者や国会議員らが参加する「日本の死刑制度について考える懇話会」が2月に設立されたことを受けたもの。

宙の会は2019年の国の世論調査で「死刑もやむを得ない」と答えた人が8割だったことに触れ、死刑廃止は「世論を尊重していない」「遺族感情を重んじていない」としている。

1996年に東京都葛飾区で次女を殺害された同会会長の小林賢二さん（77）は「（死刑の代替刑として）終身拘禁刑では不十分だ」と強調した。

⑧ 毎日新聞デジタル

「代執行制度の導入とDNA活用、法整備を」 殺人被害者遺族会、国に要望 /東京



代執行制度とDNA活用の早期実現を訴える宙の会

殺人事件の被害者遺族の会「宙（そら）の会」は16日、千代田区内で総会を開いた。国が遺族への損害賠償を立て替えた上で加害者に請求する「代執行制度」の導入や、犯人のDNAを似顔絵作成や年代推定に活用する法整備を引き続き求めることを確認した。陳情書と要望書を国に届けたという。

総会では、2月に法曹関係者らが設置した「日本の死刑制度について考える懇話会」への対応も話題になった。内閣府の世論調査で国民の8割が死刑容認であることを踏まえ、「犯罪抑止のため、死刑制度は必要不可欠だ」などと指摘する提言書を懇話会事務局の日本弁護士連合会に送付したという。

宙の会は結成から15年を迎えた。結成当初から訴えてきた殺人罪などの公訴時効撤廃は2010年に実現した。1996年に葛飾区の自宅で次女（当時21歳）を殺害された小林賢二会長（77）は「（参加者の）高齢化を危惧している。未解決事件の解決や、制度実現を求めている」と話した。【菅健吾】

⑨ 産経新聞デジタル

「死刑制度は必要不可欠」懇話会設立受け未解決事件被害者遺族の会が提言

未解決事件の被害者遺族らでつくる「宙の会」は16日、東京都内で会見を開き、犯罪抑止のために死刑制度は必要不可欠だとする提言を発表した。死刑廃止を求める立場の日弁連が事務局を務め、法曹関係者や国会議員らが参加する「日本の死刑制度について考える懇話会」が2月に設立されたことを受けたもの。

宙の会は、2019年の国の世論調査で「死刑もやむを得ない」と答えた人が8割だったことに触れ、死刑廃止は「世論を尊重していない」「遺族感情を重んじていない」としている。

1996年に東京都葛飾区で次女＝当時(21)＝を殺害された同会会長の小林賢二さん(77)は「(死刑の代替刑として日弁連が提言している)終身拘禁刑では不十分だ」と強調した。

また、殺人事件の被告や受刑者らに対する損害賠償請求訴訟で支払いを命じる判決が出た際、国が被告らに代わって遺族に賠償し被告らに請求する代執行制度を確立するべきだとの認識も改めて確認。法相宛てに陳情書を提出したと明らかにした。

⑩ 他 ニュース一覧

[Yahoo ニュース https://news.yahoo.co.jp/articles/00740cc...](https://news.yahoo.co.jp/articles/00740cc...)

[「宙の会」“DNA活用した捜査”法整備の必要性など訴えました...](#)

[Infoseek\[インフォシーク\] https://news.infoseek.co.jp/article/tbs_...](https://news.infoseek.co.jp/article/tbs_...)

[「1件でも多く未解決事件を解決に導く法制化を…」殺...](#)

[goo ニュース https://news.goo.ne.jp/article/kyodo_no...](https://news.goo.ne.jp/article/kyodo_no...)

[宙の会「死刑制度は必要不可欠」懇話会設立を受け提...](#)

[docomo.ne.jp https://topics.smt.docomo.ne.jp/article/tvasahinews/...](https://topics.smt.docomo.ne.jp/article/tvasahinews/...)

[殺人事件被害者「宙の会」会見 事件捜査にDNA活用を訴え...](#)

[goo ニュース https://news.goo.ne.jp/article/abematimes/nation/...](https://news.goo.ne.jp/article/abematimes/nation/...)

[「宙の会」会見 事件捜査にDNA活用を訴え - goo ニュース](#)